

平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市営中央駐車場・四日市市営本町駐車場
所在地	四日市市諏訪町1番5号・四日市市本町3番3号
指定管理者	名称 株式会社日本メカトロニクス 代表者 代表取締役社長 山口 正孝 住所 名古屋市中川区八熊二丁目1番11号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、 実地調査、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次 葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたう えで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え 方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	都市整備部 道路管理課 TEL：059-354-8210 E-mail：dourokanri@city.yokkaichi.mie.jp

■ モニタリングの総合コメント

市営中央駐車場及び市営本町駐車場は、市街地における駐車需要に応じ、道路の効用の保持及び円滑な道路交通の確保を図ることを目的として設置されています。日本メカトロニクス㈱の施設の管理運営状況については、実施計画に基づき全体として概ね適切に管理運営が行われています。指定管理者導入の目的である市民サービスの向上については、接遇研修等の効果もあり前年度より苦情の件数は減少しておりますが、基本に立ち還り一段と接遇の改善が必要であります。施設の維持管理については、障害者用駐車場に健常者の駐車があるとの苦情に対して、表示を工夫したりする等総合的に判断して良好と評価します。支出については、計画通り執行しています。利用台数については、中央駐車場、本町駐車場両駐車場ともに前年度を上回りましたが、利用収入は本町駐車場は前年を上回っていますが、中央駐車場は、前年度を下回っています。平成21年度からの発券機システム改良にともない、旧式の駐車券との交換が増加したことが原因の一つとして考えられます。業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施されていることから総合的に判断して良好と評価します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後も特に接遇に気を付け、更なる利用率向上に努力し、安心して施設利用ができるよう指導します。中央駐車場は、平日と閉庁時の純回転率に乖離が大きいため、設定値段の減額及び、1日駐車券の活用などを検討して行きたい。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

市街地における駐車需要に応じ、道路の効用の保持及び円滑な道路交通の確保を図ることを目的として設置している中央駐車場及び本町駐車場において実施計画に基づき全体として概ね適切に管理運営が行われました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていましたが、障害者駐車スペースに対する苦情があり更なる努力が必要であると感じます。施設の効用については、当初計画より利用台数は増加したものの、利用収入が減少したため四日市市への納入額は計画より約1,500万円少なかったです。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

現状の発券機が老朽化しており、平成21年度からの発券機システムの交換準備を行いました。自動精算システムの導入により人件費の削減が可能となります。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や時間を遵守し適切に運営されています。施設の維持管理については、毎月の結果を連絡調整会議において報告されており、適正に実施されています。本町駐車場においては、定期駐車も実施しているため支払いが遅れている人や、契約期間終了月の人には、翌月の延長がないか等、確認の電話連絡を実施しています。また、キャンセル待ちの人に対しても電話での連絡を実施しています。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

利用料金収入や管理運営費の支出について適正に処理され、領収書や経理関係書類も整理されています。施設の保守点検等に関する報告書類についても整理されています。使用済み駐車券の廃棄についても確認してシュレッダーで処理しています。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

事件・事故や災害等の各種対応マニュアルを作成し、職員への指導を実施しています。個人情報保護についても十分理解し、犯罪防止・秘密保持に努めています。損害賠償責任保険の加入もされています。

社会性（環境等への配慮）

一般ごみ、埋め立てごみ、ペットボトル、ビン、カン（アルミ・スチール）等廃棄物の分別化を実施し、使用済みの用紙をメモ用紙や計算用紙に使用することによるごみの減量化を実施したり、不要時のパソコンの電源を切ったり、エアコンの温度設定に注意する等に努め実施されています。また東側の公園等のごみ拾いを実施したりしています。

事業収支

経済性

事業収支については適正に執行されました。収入については、駐車券の自動精算システムへの切り換えにあたり、現在の駐車券との交換が生じ、各所属において過去に購入した駐車券とも交換の必要が生じ収入が減少しました。支出においては日本メカトロニクス㈱が、機械修繕等を自社で行うことができ、また電気関係にも精通しているため外注することなく支出額を抑えることができ経費削減の効果が大きく表れました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された前期分の財務状況について財務諸表等を分析した結果、課題や問題はなく、財政指標についても特に問題はないと判断いたしました。また、税理士による会計処理がなされていることを確認しています。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市営中央駐車場		所管課：都市整備部道路管理課
	四日市市営本町駐車場		
所在地	諏訪町1番25号		設置年月：平成元年4月1日
	本町3番3号		設置年月：昭和60年12月14日
設置目的	市街地における長時間の駐車需要に応じ、もって道路の効用の保持及び円滑な道路交通の確保を図ることを目的として設置されました。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市駐車場条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡) 中央駐車場	4,614.30㎡
		敷地面積 (㎡) 本町駐車場	1,254.41㎡
		延床面積 (㎡) 中央駐車場	9,771.76㎡
		延床面積 (㎡) 本町駐車場	1,700.72㎡
	<p>四日市市営中央駐車場は、建物構造としては鉄筋5階建6層地下2階の構造です。駐車形態としては、公用車と一般利用者の車の利用となっており収容台数413台（内身障者用13台）で、定期駐車台数（公用車及び議会用）が228台、時間貸し駐車台数185台となっています。</p> <p>四日市市営本町駐車場は、建物構造としては鉄筋2階建3層の構造です。駐車形態としては、一般利用者の車の利用となっており収容台数93台（内身障者用1台）で、定期駐車台数（一般利用者）が66台、時間貸し駐車台数27台となっています。</p>		
	事業概要	市街地における道路の効用の保持及び円滑な道路交通の確保を図るため設置した施設であるという理念に基づき駐車場の管理運営を行っています。	

2. 運営状況

項目	平成19年度	平成20年度	対計画比
開館日数	365日	365日	—
開館時間	24時間	24時間	—

3. 利用実績

項目		平成19年度	平成20年度	対計画比
延べ利用者数		283,950人	286,025人	—
平均利用率	平均	777台/日	783台/日	—

4. 事業収支

(単位：円)

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	対計画比
利用料金収入	中央駐車場	104,798,756	88,002,856	△ 16,795,900
	本町駐車場	15,698,379	14,174,860	△ 1,523,519
指定管理料		—	—	
収入計		120,497,135	102,177,716	△ 18,319,419
人件費		10,910,175	11,320,366	410,191
管理費		27,598,880	23,192,992	△ 4,405,888
消耗品費		3,525,000	2,541,711	△ 983,289
燃料費		74,500	82,296	7,796
印刷製本費		0	0	0
光熱水費		2,590,000	3,128,280	538,280
修繕料		2,300,000	522,480	△ 1,777,520
通信費		224,320	126,217	△ 98,103
広告料		0	0	0
手数料		0	0	0
保険料		0	0	0
委託料		18,885,060	16,792,008	△ 2,093,052
賃借料		0	0	0
事業費 (ソフト事業)		0	0	0
一般管理費		5,430,138	7,325,748	1,895,610
支出計		43,939,193	41,839,106	△ 2,100,087
収 支		76,557,942	60,338,610	—

平成20年度 四日市市営中央駐車場・四日市市営本町駐車場
運営状況チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	365日	365日	-	当初計画通り適正に執行された	適
開館時間	24時間	24時間	-		

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比	検証・分析等	適否	
利用台数	中央駐車場	270,600台	267,162台	△3,438台	計画を下回った 計画台数も上回り、利用料金収入も前年度を上回った	適
	本町駐車場	16,340台	18,863台	2,523台		

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比	検証・分析等	適否
利用料金収入	中央駐車場	104,798,756	88,002,856	△ 16,795,900	適
	本町駐車場	15,698,379	14,174,860	△ 1,523,519	
指定管理料	—	—			
収入計	120,497,135	102,177,716	△ 18,319,419		
人件費	10,910,175	11,320,366	410,191	〔勤務体制 責任者 1名 警備員2～3名にて中央・本町 両駐車場対応〕 支出については、委託業務に おいて、自社で対応可能な部 分について対応することによ り支出が全体として計画より 削減されました。	適
管理費	27,598,880	23,192,992	△ 4,405,888		
消耗品費	3,525,000	2,541,711	△ 983,289		
燃料費	74,500	82,296	7,796		
印刷製本費	0	0	0		
光熱水費	2,590,000	3,128,280	538,280		
修繕費	2,300,000	522,480	△ 1,777,520		
通信費	224,320	126,217	△ 98,103		
広告料	0	0	0		
手数料	0	0	0		
保険料	0	0	0		
委託料	18,885,060	16,792,008	△ 2,093,052		
賃借料	0	0	0		
事業費 (ソフト事業)	0	0	0		
一般管理費	5,430,138	7,325,748	1,895,610		
支出計	43,939,193	41,839,106	△ 2,100,087		
収 支	76,557,942	60,338,610	—		

総合コメント

運営については、ほぼ計画通りに実施されました。利用台数については、本町駐車場については、前年度を上回る結果となりましたが、利用料金収入については、両施設とも前年度を下回っています。経費については、指定管理者である株式会社日本メカトロニクスが、機械修繕や電気関係について自社で行うことができるため支出額を抑えることができました。また、現金の入金状況等の経理関係書類や領収書類については、税理士による会計処理の確認を実施し適正に整理されています。

平成20年度 四日市市営中央及び本町駐車場施設 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断	
利用実績		本町駐車場の利用台数は、計画に対して実績が上回っておりますが、中央駐車場においては、計画に対して実績が下回っています。中央駐車場の市役所閉庁時における稼働率のアップが今後の課題であると思います。	適	
事業 収支	収入	中央駐車場の利用収入は、計画に対して実績が-16,795,900円、本町駐車場の収入実績は-1,523,519円です。両施設では、計画に対して実績が-18,319,419円となりました。平成19年度実績と比較すると、両施設で-16,795,900円となっております。	適	
	支出	<p>支出については、計画より実績が2,120,087円減りました。</p> <p>支出である管理運営費は、上限金額を設けており減った金額については、市への納入金額への計算の根拠とします。</p> <p>各支出の計画に対する実績の差額については、下記のとおりです。</p>	適	
		人件費 +410,191円		イベント開催にともなう出勤日数の増加による。
		事務局費 △1,073,596円		発券機交換にともない、駐車券の購入を控えたため。
		修繕費 △1,777,520円		修繕費、機械賃借費。指定管理者が、機械修繕、電機関係を自社で修理等ができるため削減された。
		委託費 △2,093,052円		警備費、管制装置、消防用設備、エレベーター設備、自家用電気工作物の委託。（指定管理者において対応可能な部分を指定管理者において実施し、委託料の減額を行った。
		光熱水量費 +538,280円		実績による。
		一般管理費 +1,895,610円		保険料、租税公課費。
合計 △2,100,087円				